

# アマチュア 『疑心暗鬼』

プロとアマチュアの違いは、  
自然を見方に付けたか、敵にまわしたか。

バリューゴルフ  
**VALUE GOLF**  
www.valuegolf.co.jp

## ゴルフ外交(1)

ゴルフは、性格の出るスポーツだといわれている。ゴルフのプレーを見ていると、大胆な人、神経質な人、注意深い人。面白いほど、プレーヤーの性格がゴルフという競技に反映される。それは、覚えてたのアマチュアからメジャートーナメントを制した一流のプロ選手も同じこと。男女の差や、年齢の差、さらには国籍を超えてその人の全てを反映するといっても大袈裟ではない。

猪突猛進、グリーンに向かっていつもまっしぐらのゴルファーがいる。林の中に入った球を、わずかな木の隙間から直接グリーンを指して、狙う人をよく見かけるが、こんなプレーヤーは、良し悪しはさておいて、自分の可能性をとことん信じて、自らのプライドを持って危険をおかす。ゴルフは、数字と確率のスポーツともいわれるが、例えば勝負のなかったパットなどは、強く打てる選手と、カップにも届かない球を打ってしまう選手がいる。

ゴルフというスポーツの本質は、あくまで自然との戦いである。風の中や雨が降りしきるコースで、いかに自分の技量を発揮するか、そのためにいかに強いメンタルをつくり上げるかが基本である。一方で、ミスショットをキャディーのせいにしたり、天候のせいにしたたりする恥ずかしいプレーヤーもいる。つまり、ゴルフというのは、自分の性格や気持ちの置き方を自分でチェックするスポーツでもある。

少し前の話だが、安倍元首相が、次期米大統領のドナルド・トランプ氏が所有するトランプ・ナショナル・ゴルフクラブ・ジュピターに招待されていた。そこで18ホールプレーした後、トランプ・インターナショナル・ゴルフクラブ・ウエストバームビーチに移動して、さらに9ホール行った。その際に、次期トランプ米大統領は「一緒に豪華な食事を取り、ゴルフコースを回った方が君のことがよく分かるよ」と言った。その時に同伴したプロゴルファーのアーニー・エルスも2人のにやかな会話に日米の友好がうまくいっていると感じたそう。

ゴルフは、性格を反映するだけでなく、ひよっとすると人生を変える力もあるのかもしれない。なぜならば、この競技を通して、人間の生活や習慣すら変わる可能性があるからだ。



戸張 捷 Sho Tobaru

1945年、東京生まれ。高校からゴルフを始め、3年で全日本ジュニア3位、大学4年で日本アマ9位。住友ゴム工業(現SRIスポーツ)に入社後、株式会社ダンロップスポーツエンタープライズへ出向。トーナメントディレクター、プロデューサーとして日本ゴルフ界に貢献した。現在は、ゴルフキャスターとして活躍するほか、ゴルフトーナメントやイベントのプロデューサー、コンサルティングなども手掛けている。